

北九州市立大学『地域創生学研究』の執筆要領

—原稿の提出方法について—

Instruction for Authors: How to Submit to Journal of Regional Development Studies

北方 太郎、北九 創生*
Taro KITAGATA, Sousei KITAKYU

<要旨>

地域創生学の確立に向けて、北九州市立大学地域創生学群では、『地域創生学研究』が発行されることとなった。本誌では、地域に関わるものに加えて、地域での活動実践、あるいは、活動からの学びに関する学術的知見の蓄積の場とする。本論文では、本誌の執筆要項を示し、さらには、『地域創生学研究』執筆用のテンプレートを提示することで、『地域創生学研究』への投稿促進を目指す。

<キーワード>

地域創生学、学術雑誌、テンプレート、Word

1. はじめに

1.1 『地域創生学研究』発行の経緯

2009年に北九州市立大学地域創生学群が開設されてから、地域創生マイルストーンをほぼ毎年発行してきた¹⁾。今後、地域創生学の確立に向けて、地域創生マイルストーンに代わって、地域創生学に関わる知見を蓄積し、学術的価値を高めることを目指して、『地域創生学研究』を発行することになった。

1.2 『地域創生学研究』の概要

地域創生学研究では、地域に関する学術的知見、および、実践科学や実践からの学びに関する学術的知見を掲載することとする。従来の紀要と異なり、実践論文というカテゴリを加え、地域活動そのものや地域活動から得た学びを学術的に昇華した研究論文を学内外から募集、掲載することで、独自の学術雑誌を確立したいと考えている。

* 北九州市立大学地域創生学群学生

2. 『地域創生学研究』の執筆要項について

2.1 原稿ファイルの全体的な設定について

本誌の原稿は A4 サイズの用紙に 40 字×36 行で日本語横書きとし、MS-Word 形式のファイルで作成することとする。原稿の余白は、上が 35mm、下が 30mm、左右がそれぞれ 25mm とする。特別な場合を除き、原稿のフォントは、ひらがな、カタカナ、漢字は MS 明朝、それ以外は Century を使用し、フォントサイズは 10.5 ポイントとする。

2.2 原稿のタイトルと著者について

原稿の冒頭に、日本語の表題を MS ゴシック 14 ポイントで記入する。副題がある場合は、次の行に MS ゴシック 12 ポイントで—（ダッシュ）ではさんで記入する。表題、副題、共に中央揃えで記入する。その後、1 行空けてから英語のタイトル、サブタイトルがある場合は、英語のサブタイトルを Century の 12 ポイントで記入する。タイトルとサブタイトルの間は:（コロン）で区切るものとする。タイトルは冠詞、前置詞、接続詞以外の単語の先頭を大文字で記入する。

著者名は MS ゴシック 12 ポイント、右揃えで記入し、著者名の前後とも一行空ける。著者名の英語表記は、原則として、First name を先とし、頭文字を大文字とする。名字にあたる部分は全て大文字とする。

地域創生学群専任教員以外の著者の所属は論文の最初のページに脚注として記す。

2.3 要旨とキーワードについて

「<要旨>」は MS ゴシック 10.5 ポイントを用い、改行し、要旨の文章を必ず記入する。要旨の文章量は 5 行以内とする。「<キーワード>」は MS ゴシック 10.5 ポイントを用い、改行してから、キーワードを記入する。キーワードは 1 つ以上 5 つ以下とする。

2.4 本文について

キーワード部分から 2 行空けて、本文を書き始めることとする。

2.4.1 本文の章と節などについて

本文中には、数字、記号を用いて、章・節を設ける。章にあたるものは「1.、2.、…」(全角数字、および、全角ドット)とし、節にあたるものは「1.1、1.2、…、2.1、2.2、…」(半角数字、および、半角ドット)とする。また、章題、節題は MS ゴシック 10.5 ポイントを用いることとする。必要に応じて、節以下も、例えば「2.1.1」(半角数字、および、半角ドット)などのように使用して構わない。新たな章・節に入る時は、1 行空けることとする。

2.4.2 図・表・写真について

図・表・写真は著者の希望する箇所に配置する。図・表・写真は、カラーでも構わないが、白黒印刷されることに注意し、作成する。図・表・写真には、それぞれに本文の先頭から通し番号（番号は半角で記す）を付けることとする。図、表、写真には、必ずタイトルをつけるものとする。図・表・写真のタイトルは、中央揃えとする。

表と図の例として、地域創生学群の 2015 年度から 2017 年度までの学生定員数を表 1 に、地域創生学群のロゴマークをグレースケールに加工したものを図 1 にそれぞれ示す。

表 1 地域創生学群の学生定員数

年度	学生定員（人）
2015	90
2016	90
2017	120



図 1 地域創生学群ロゴ（グレースケール）

2.5 謝辞、注、参考文献について

謝辞、注、参考文献は前後に 1 行空行を入れることとする。注と参考文献は文末に一括して示すこととする。注、および、参考文献は、各専門領域の記述方法に従うこととする。

3. 原稿の提出、校正、その他について

原稿のファイルは、Word 形式の本テンプレートを利用し、北九州市立大学地域創生学群資料室宛にメール（原稿のファイルを添付）にて提出する（メールアドレスは rd-siryoun@kitakyu-u.ac.jp）。なお、監修責任書の提出が必要な場合は、締め切りまでに同資料室に直接提出すること。

本論文でこれまでに述べた以外の点に関しては、執筆者の専門領域の記述方法に従うことを原則とする。校正は初校のみ執筆者校正により行い、校閲は執筆者の責任とする。

使用したデータや事例等については、倫理的に配慮をする。また、プライバシー侵害が

なされないように細心の注意をなす。さらに、著作権者の許諾、その他必要と思われる事項を明記する。

本誌発行にあたり、不都合が出てきた場合には、編集委員から執筆者に連絡し、協議の上、修正、あるいは、取り下げ等をお願いする可能性がある。

4. おわりに

本論文では、北九州市立大学『地域創生学研究』の執筆要項について述べてきた。ここにあるルールを表現したものが、このテンプレートである。そのため、これを最大限に活用して、執筆頂きたいと考えている。また、このテンプレートに関して、問題等があった場合は、北九州市立大学地域創生学群編集委員までご連絡頂きたい。

謝辞

本誌のテンプレートを作成するにあたり、地域創生学群の専任教員の先生方に多くのご助言をいただいた。この場を借りて、感謝申し上げたい。

注

- 1) 残念ながら、2012年度は発行されなかった。

参考文献